

事業実績書

事業名	沼津文化交流会
場 所	沼津市 全域
期 間	平成 31 年 4 月 17 日 ～ 令和 1 年 12 月 31 日
	実施項目・作業項目
事業内容	「多くの市民が音楽に触れる機会を創出し、音楽を媒体とした活発なコミュニティの形成」を趣旨として、新しく夏の風物詩である「盆踊り大会」を盛り込んだ「沼津文化交流祭」を開催する。 ●実施内容 静岡県東部（主に沼津市）を拠点として活動している演奏家・パフォーマーのほか、音楽教室に通うレッスン生等の活動発表の場を「沼津文化交流祭」と称して29年度、30年度に開催した。地域に根付いた音頭を生演奏で盆踊りを実施し音楽を通じたまちづくりを推進した。 30 年度、盆踊りについては、地元コミュニティで普及されている「門池音頭」を題材とするため、4月から自治会連合会・門池小学校・門池中学校・近隣老人介護施設・ぐるめ街道振興会等の協力を得て、「門池音頭」の盆踊りの練習を行った。 また、8月に開催された「門池連合地区夏祭り」では、プレイベントとして、生演奏による「門池音頭」の披露を行った。またCDを作成し関係者等への配布を行った。 31 年度は「各盆踊り大会」に演奏隊と踊子隊を参加させていただき、お祭りを盛り上げる形を作ろうと考え、レコードやカセットテープ等の古い媒体を現在の媒体に移し替え、品質の向上を保つべく音頭の音源再製を行なった。 30 年度で生まれた参加型の演奏隊や踊子隊は、町内問わず色々な方々の参加が可能で、「盆踊りを生演奏で踊る」という形は全国探しても見当たらず、CD、DVD、YOUTUBE 等で配布、発信し周知方法も十分な可能性があると考えた。 しかし、各自治会や学校に我々の活動の周知が足りず、各おまつりに演奏隊と踊子隊の参加することができなかった。 盆踊り音源再製については入手できたカセットテープから採譜、アレンジして静岡県東部で活動している音楽家とともに「沼津音頭」「ふるさとのまち沼津」「門池音頭」「愛鷹音頭」のレコーディングをしてCD音源化制作をした。 CDは無料配布し、音頭の再製を機に各学校、施設、自治体、各イベント等で使用していただき、歴史ある「沼津の歌」を次の時代に残して行けたらと考える。

事業内容

盆踊り復活CD

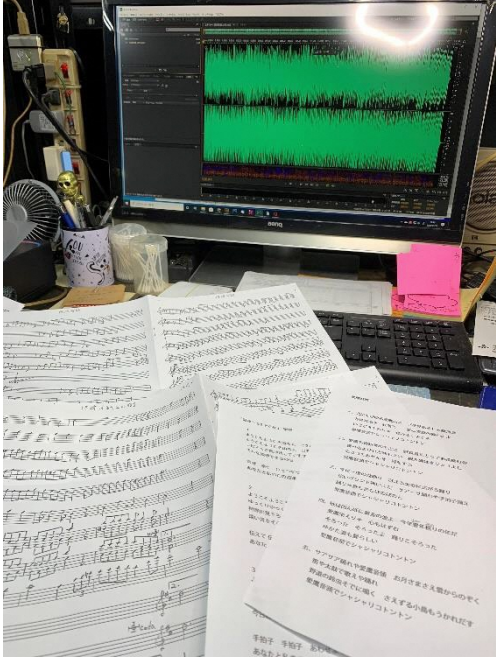
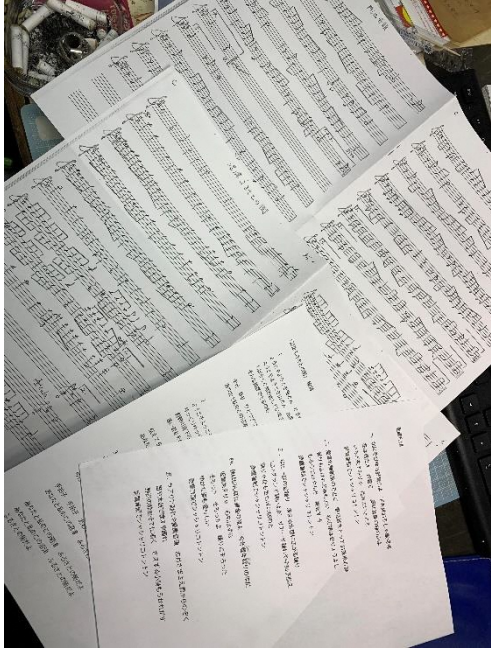
	作詞	作曲
1. 沼津音頭	福田 克彦	清水 保雄
2. 沼津ふるさとの街	羽岡 仁	神津 善行
3. 門池音頭	原 博男	原 博男
4. 愛鷹音頭	曾根 幸明	曾根 幸明
録音・練習スタジオ	株式会社いさわや	
	すみやグッディ株式会社	
	MUSIC LA FESTA	
	特定非営利活動法人キミスタ	
編集	望月 公裕	
採譜・アレンジ	渡辺 克洋	望月 公裕
イラスト	松永 雅栄	

レコーディング 沼文練り歩き隊

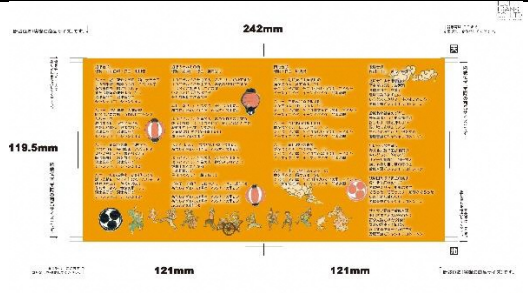
パート	
サククス	渡辺 克洋
	由原木 亜紀
	原田 尚一
	長谷川 由紀
	金子 能章
	中島 直樹
	菊田 裕子
	浜島 美佳
トロンボーン	田中 美帆
トランペット	中谷 渉
ドラム	内藤 信一
	望月 淳
ベース	園田 大輔
	植松 嗣晴
	深澤 孝之
ギター	杉山 正義
	鈴木 洋平
	望月 公裕

パーカッション	大井 しのぶ
	藤井 幸博
	望月 玄気
	橋本 昌映
	黒川 美穂
	小池 真弘
	大石 怜奈
	嶋崎 亮太
	宮田 俊吾
三味線	新井 圭
ボーカル	渡邊 睦美
	大嶽 創太郎
	麻生 洋子
	堺 輝
	岡崎 幸子
	望月 公裕

協力
すみやグッディ株式会社
MUSIC LA FESTA
株式会社いさわや
門池地区連合自治会
沼津市企画部地域自治課
園田大輔バンド研究所
沼津プロレス
日本政策金融公庫
沼津信用金庫
株式会社コスモスケアサービス
社会福祉法人駿河厚生会
社会福祉法人春風会
社会福祉法人炉暖会
社会福祉法人信愛会
株式会社きずな
オーチャード沼津
りんごのき
カームガーデン
ネクストワン
耕雲寺
第一耕雲寺幼稚園
第二耕雲寺幼稚園
KATSUHIRO' S
Kimihiroes

事業内容	●周知方法 ・ F B : 特定非営利活動法人キミスタ アカウントにおいて周知 ・ H P : 特設ページを開設し、開催を周知 ・ ラジオ放送 : コーストFMに出演し開催を周知 ・ 広報ぬまづ : 広報ぬまづにて周知	
事業内容	●製作物 盆踊り復活CD 300 枚	
	採譜	歌詞取り
事業内容		
	リハーサル、アレンジ	
事業内容	5/1 いさわや様にて	8/27 キミスタにて
		
事業内容	8/27 キミスタにて	
		

事業内容	9/6 キミスタにて		
			
事業内容	打ち合わせ、リハーサル		
			
事業内容	11/11.12 レコーディング		
			
			

			
			
事業内容	11/29 レコーディング	11/30 編集	
			
事業内容	12/1 デザインデータ入稿		
			
			

事業内容	完成	
		
事業効果	・ 存在する沼津の盆踊り楽曲はレコードプレーヤー及びカセットテープでしか聞くことができず、音質も悪く聞きにくい。CD化することにより、音質の向上、再生機もまだ購入可能である。特に野外イベントでは効果的である。 ・ 老若男女を問わず、盆踊りは昔から行われており、毎年行われている自治会も多い。世代交代や少子化により盆踊りを伝える方々も高齢化している、新しいアレンジも音色も聞きやすく、より一層多くの地域に認知していくと考えている。 ・ これまで、地域のイベントは自治会主体によるものばかりであったが、地域を構成する多様な主体との連携による盆踊りの新たな活用方法（収益性のあるイベント開催）に向け取り組んでいける体制づくりができた。 ・ 本CD制作をきっかけに、地域コミュニティとの関係が強化され、通常地域活動においてもNPO・学校・地域団体の連携による取り組みが望まれる。 ・ CD配布にあたり、既に他の楽曲の再製委依頼の打診を受けており、本事業の継続、維持も可能と思われる。	
今後の活動予定	次の音頭CD再生依頼に向け、周知方法等の課題を改善するよう検討を進めていく。 また、沼津で活動する音楽家が、本事業により収益につながってきていることから、これらを活用した自主財源の確保に努め、継続的な運営体制の整備に努めていく。	
自己評価	まちづくりファンドプレゼンでアプローチしていた地域のお祭りイベント等に演奏、踊りの派遣は行うことができなかったが、音頭を再製するプロジェクトが次の課題に大きく関わっており、継続して行くことが最大の課題である。 次年度以降は、これらの主体と協力して、より地域に密着した内容の取り組みを継続していきたい。	